

CONTENTS

● 新会長挨拶・新任理事挨拶・役員名簿	2・3
● 平成21年度事業計画	4・5
● 著作権ソフト委員会からの報告	6
● 公益法人制度改革について	6・7
● AMEI会員名簿・新入会員ご紹介・第13回通常総会議事録の開示案内	8

第13回通常総会



新会長 岡部比呂男氏



新任理事 4名



経済産業省
木本直美様



文化庁 竹田透様



前会長加藤氏に感謝状贈呈

第13回通常総会が5月14日午後4時から東京飯田橋のホテルエドモンドで開催されました。加藤博万会長の挨拶のあと、事務局から定足数（正会員60社、出席34名、委任状25通）が発表され、総会の成立が報告されました。定款に基づき加藤会長が議長となり、議事録署名人2名（カシオ計算機株式会社高橋祐吾氏、株式会社スリック藤原見平氏）が選任され、議案審議に入りました。

1号議案「平成20年度事業報告」、2号議案「平成20年度収支決算報告と監査結果報告」がそれぞれ承認、3号議案「平成21年度役員交代の承認を求める件」では、会員代表者の交代に伴う新任理事として、岡部比呂男氏（ヤマハ株式会社）、高橋祐吾氏（カシオ計算機株式会社）、鈴木周司氏（株式会社鈴木音楽器製作所）、瀧田和伸氏（株式会社セガ）、吉田眞市氏（株式会社フェイス・ワンダワークス）の5名が選任されました。

通常総会はここで一時休会し、この間に、会長を互選により決めるため、臨時理事会が別室で開催されました。

15分の休会後、議事が再開され、袴運営委員長より臨時理事会にて互選の結果、新会長に岡部比呂男氏が就任されたことが報告され、岡部会長はじめ新任理事からご挨拶がありました。

その後、議長が岡部会長に交代し議案審議が再開されました。

緊急発議「定款変更の審議承認を求める件」について、佐々木副会長より加藤博万前会長を顧問として今後も意見等を頂くため、定款第17条第1項の変更（顧問数を2名以内から3名以内へ変更）について緊急発議があり、この緊急発議を議案とする採択について全員の合意を得、定款変更を審議の結果、全員一致で承認されました。

4号議案「平成21年度事業計画」、5号議案「収支予算」がそれぞれ承認され、近藤公孝副会長より閉会の挨拶があり第13回通常総会は終了しました。

続いて午後6時から「通常総会懇親会」が開催され、主催者岡部新会長の挨拶の後、ご来賓の経済産業省 木本直美様、文化庁 竹田透様からのご挨拶に続いて、社団法人日本音楽著作権協会 菅原端夫常務理事による乾杯のご発声により、賑やかに懇親の会が始まりました。席上、このたび退任される加藤博万会長の長年に亘る協会発展への協力に対して岡部新会長から、感謝状と記念品が贈呈されました。

会は、その後も盛り上がりましたが、和田康孝副会長の中締めの後、午後8時過ぎ散会いたしました。

新 会 長 挨 拶

岡部 比呂男 会長

ヤマハ株式会社
取締役 常務執行役員

去る5月14日に開催された第13回通常総会においてご承認を頂き、加藤博万前会長のあとを受けてAMEI会長に就任致しました。この紙面をお借りしまして、AMEI会員の皆様、そして経済産業省はじめ平素より当協会をご支援下さっている皆様方に一言ご挨拶を申し上げます。



加藤前会長から職務の引継ぎを受け、また顧問のお二方はじめAMEIの発展にご尽力なさってきた皆様から、これまでのいろいろなご苦勞話を伺いながら、四半世紀に及ぶMIDIの歴史、そして1996年の設立以来13年かけて着々と積上げてきたAMEIの実績を、改めて重く受け止めているところです。私自身、ヤマハ株式会社で30年以上も楽器の仕事に携わってまいりましたが、これまでAMEIの活動には直接関わっておりませんでした。今回、会長職をお引き受けすることになり、これまでの膨大な活動ファイルや、「AMEI NEWS」、ホームページなどで、改めてAMEIのこれまでの活動を振り返ってみましたが、電子楽器の標準語として誕生したMIDIが、その後の爆発的な情報技術の進歩によって、楽曲データ送受信のプラットフォームとしても広く活用される様になり、それに伴ってAMEIの活動領域も当初に比べてずいぶん幅広くなっていること、またMIDIを用いた映像の制御など、MIDI自体の機能拡充についても多くの議論と研究がなされてきていることを、改めて認識しました。

MIDIの柔軟性や発展性がそれらの変化をしっかりと受け止めており、それがMIDIを構築した先輩方の英知と先見性の賜物であるのは間違いのないところですが、絶え間ない技術革新によって世の中が加速度的に変化している中で、これまでのMIDIを取り巻く環境とそこで果たしてきたAMEIの役割は、今後の10年で、これまでも増して大きな変化を遂げていくものと思います。環境の変化に沿って積極的に拡大・発展させていくべきものと、大きく変えずに維持・管理していくべきものを的確に見極めることが、AMEIに課せられた大きなテーマのひとつだと感じております。

MIDIをベースに積み上げられた数々の事業が、その土台を崩すことなく、今後も継続的に発展していくことが重要であり、それは電子楽器や音楽配信に関わる業界各社の繁栄につながるだけでなく、最終的にユーザーの恩恵にもつながるものと確信します。

音楽配信の世界は、私がこれまで関わってきた楽器の世界と比べると、変化のスピードが圧倒的に速く、各社のビジネスモデルも実に多様です。データ配信のスピー

ドが増し、ネットワークの交通量が増えるにつれて、それをうまくコントロールできるようなくみを併せて構築していかないと、ユーザーの利便性と制作者の権利保護がトレードオフの関係になってしまいますので、AMEIの役割の中でも、権利処理業務の適正化や効率化は今後益々重要になってくると考えます。

力不足ではありますが、副会長、常務理事の皆様、各専門委員会の皆様、そして事務局との会話を深め、各人のお力添えを頂きつつ、会長の職務を精一杯務めてまいりたいと思います。会員各位のご協力とご支援をお願い申し上げます。また皆様の益々のご繁栄を祈念致しまして、簡単ですが就任のご挨拶とさせていただきます。

新 任 理 事 挨 拶

高橋 祐吾 理事

カシオ計算機 株式会社
コンシューマ事業部 第四開発部 部長

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当協会の理事に就任させていただくこととなりました。

ここに謹んでご挨拶申し上げます。

弊社は1980年に電子楽器の分野に参入、約30年が経過いたしました。その間、常に音楽の新しい楽しみ方を追求し続けてきました。

今後も、デジタル技術をベースにした新しい電子楽器の創造と多くの人に楽しみをもたらし、新しい文化を生み出すことに貢献出来る製品の提供を心がけていく所存であります。

微力ではありますが、AMEIの活動を通して業界の発展、また音楽文化の発展に寄与していければと思っております。

会員の皆様のご支援、ご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



瀧田 和伸 理事

株式会社セガ
ネットワーク事業部 事業部長

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶びを申し上げます。

この度、当協会の理事に就任させていただくことになりましたので、ここに謹んでご挨拶を申し上げます。

弊社では携帯電話、PCに向けた音楽コンテンツなどの配信に関わるネットワーク事業を長年



に渡って運営をさせていただいていることから、AMEIの皆様がたにはひとかたならないお世話になっております。

昨今のデジタル技術、ネットワーク技術、およびそれらを搭載した機器の加速度的な進化は、新たなビジネス・市場の創成を果たす一方で、著作権、コピー問題などをはじめ、企業、業界の垣根を越えて取り組まなければならない新たな問題を様々に湧出させており、AMEIの活動、役割にもますます重要なものが生じてきております。

微力ではございますが、諸問題の解決に向けて、また当協会、ならびに関連業界の発展のために尽力させていただき所存でございますので、会員の皆様がたのご支援、ご指導を賜りたく、よろしくお願いを申し上げる次第でございます。

鈴木 周司 理事

株式会社鈴木楽器製作所
専務取締役

この度、先の通常総会において弊社前任から大役を引継ぎ、理事に就任致しました。

今回の理事就任にあたり、AMEIが設立された目的や、今日に至るまでの活動を改めて拝見させていただきました。時代と共に、様々な業界で多くの企業や機関と関わり、また先輩方の幅広い活動における多大な功績を知るに至り、当協会の役割や重みというものを感じ受けた次第です。

私自身、楽器業界・電子業界においても、まだまだ駆け出しの身で十分にその重要性を理解するに至ってはおり



ませんが、当協会の発展と少しでも社会へ貢献できるよう協会の一員として、微力ながら精一杯務めて参りたいと思います。どうか皆様の温かいご指導をいただき、皆様と共に歩んで参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

吉田 眞市 理事

株式会社フェイス・ワンダワークス
代表取締役社長

AMEI会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の通常総会におきまして当協会の理事に就任させて頂くことになりましたので、ここに謹んでご挨拶申し上げます。



弊社は、携帯電話向けコンテンツ配信サービスを主業務として常に音楽と共にありました。ネットワークの進歩と携帯電話の高機能化が急激に進む中、新しいモバイルサービス・配信サービスを提供し続けるべく取り組んで参りました。

今後もまた、新しいサービスを生み出し、新しいエンタテインメントコンテンツを広く提供していく上で、AMEIの果たす役割、活動は益々重要になってくるものと強く感じております。

AMEIを通して、会員企業の皆様と共に様々な活動ができますことを期待し、微力ながら業界の発展に貢献できるよう努力して参る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

(社)音楽電子事業協会 平成21年度役員名簿

★：新任役員

★会 長	岡部比呂男	ヤマハ株式会社 取締役常務執行役員
副 会 長	近藤 公孝	ローランド株式会社 常務取締役
〃	佐々木隆一	株式会社エムティーアイ 取締役
〃	和田 康孝	株式会社第一興商 代表取締役社長
専務理事	岩崎 修三	社団法人音楽電子事業協会 事務局長
常務理事	加藤 世紀	株式会社コルグ 代表取締役社長
〃	袴 俊雄	JVCネットワークス株式会社 取締役
理 事	Ann Rollins	アップルジャパン株式会社 政策企画部長
〃	赤松 憲樹	学校法人尚美学園 顧問
〃	飯村 康弘	学校法人片柳学園 日本工学院八王子専門学校 副校長
〃	大野 政昭	株式会社サミーネットワークス 代表取締役社長
〃	大浜 和史	日本シンセサイザープログラマー協会 理事長
〃	踊 契三	株式会社フェイス 取締役
〃	加茂 正治	株式会社BMB 代表取締役社長
〃	川田 敦昭	株式会社サイバード 代表取締役社長
〃	小林 宏	株式会社ドワンゴ 代表取締役社長
〃	島村 元紹	島村楽器株式会社 代表取締役社長
★ 〃	高橋 祐吾	カシオ計算機株式会社 コンシューマ事業部第四開発部 部長

★ 〃	瀧田 和伸	株式会社セガ ネットワーク事業部 事業部長
〃	谷口 恵治	株式会社ヤマハミュージックメディア 代表取締役社長
★ 〃	鈴木 周司	株式会社鈴木楽器製作所 専務取締役
〃	英 裕治	ティアック株式会社 代表取締役社長
〃	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社 代表取締役社長
〃	村上 二郎	株式会社河合楽器製作所 執行役員電子楽器事業部長
〃	村上 昇	株式会社インターネット 代表取締役
〃	吉田 篤司	株式会社エクシング 代表取締役社長
★ 〃	吉田 眞市	株式会社フェイス・ワンダワークス 代表取締役
監 事	大内 和衛	株式会社キューブ 代表取締役社長
〃	三木 康司	株式会社シーミュージック 代表取締役社長
顧 問	梯 郁太郎	ローランド株式会社特別顧問
〃	日吉 昭夫	
〃	加藤 博万	ヤマハ株式会社顧問

(常勤役員は専務理事のみ、他の役員は非常勤です。)

平成21年度事業計画（委員会活動）

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

1 全体活動

公益法人改革による社団法人音楽電子事業協会の今後のあり方について、運営委員会にWGを設置し研究する事とする。

2 製品安全・環境委員会

＜活動方針＞

電子電気楽器及び関連機器の安全性確保・環境対策を両軸とした技術、法律、規格要求に関する諸問題の調査研究を2つの専門部会が主体性をもって推進することにより、会員各社の専門知識、技術の習得とあわせて、市場における製品の安全性や信頼性の向上を目指す。同時にそれに伴う会員企業の事業の安定化、事業リスクの低減等に寄与できるようにする。参加企業間での見解統一を要する予定案件がない為、各部会での情報交換および法規制からの要求事項に対する解釈のレベル合わせの為の活動を継続する。

そのため2つの専門部会は、電子電気楽器及び関連機器に関し、安全及び環境に関する技術、規格・規制等の動向や情報を把握し、会員会社へタイムリーに情報提供を推進し、電子電気楽器及び関連機器として必要な課題への見解を統一し対応を図ると共に、市場における製品の安全性および信頼性を確保することを目的として活動する。

＜事業計画＞

●安全規格部会

・「安全規格について」

電気用品安全法、北米規格、欧州規格、その他各国の動向調査をおこなう。

また、技術向上のための試験所解釈集勉強会をおこなう。

・「EMCについて」

各国規制動向調査及びCISPRマルチメディア国際規格策定への参画をする

・「その他」

各国の省エネルギー規制の動向調査

PL関連情報の提供と交換

・「電気用品安全法自主依頼試験」の実施

●環境問題研究部会

・国内外の環境に関する法・規制等の動向調査及び情報交換

・各社の法・規制対応に関する意見交換等の実施

・グリーン調達調査共通化協議会（JGPSSI）への参画

・セミナーの開催（5月11日浜松にて）

「EuPへの対応（待機時消費電力、外部電源）」をテーマに開催予定

3 MIDI規格委員会

＜活動方針＞

1. MIDI規格委員会メンバーとAMEI間での誓約書の締結。
2. 新しい市場創造に向けたテーマの推進。
3. MIDI1.0規格を現在の環境にマッチングさせるための技術検討。
4. 知的財産権、規格、ロゴ、技術交流などAMEI入会メリットをさらに強化し、入会増を目指す。
5. RPやCAにならなかった案件について追跡調査できる、AMEI独自のアイテム管理体制の構築。

＜事業計画＞

1. MIDI1.0部会

- ・ RP、CAの提案を受け年間4回の部会会議開催
- ・ Visual Connect案及びMMAから修正提案された3D MIDIについては、今年度前半の成立を目指す。

2. 技術研究部会

- ・ 年間12回の部会会議開催。その他MMAのHD-WGとの合同会議を年間4回開催。
- ・ 音楽や電子楽器に関する技術検討を行い、現状の問題の解決及び新技術開発による将来の音楽事業発展に貢献する。
- ・ 新技術・新商品の評価、検討を通して音楽業界のニーズを模索する。
- ・ ワイヤレスなど5PinDINシリアル伝送以外の伝送路におけるMIDIの評価、検討を行う。
- ・ HDプロトコルの内容について技術検討を行う。

3. 委員会全体会議の開催 4回

- ・ IPポリシーの制定と会員との誓約書の締結

4. NAMM2010ビジネスツアーの実施

- ・ MMAとの合同会議への参加と一般会員のためのNAMM2010視察のため実施

4 MMI推進プロジェクト

＜活動方針＞

MMI対応アプリの普及を通じ、着メロビジネスの活性化を図る。

＜事業計画＞

- ・ MMI搭載アプリの普及促進、ロゴ承認・発行・管理
- ・ QWERTYキー対応規格の制定、RP化。
- ・ 年間3回のプロジェクト会議

5 著作権・ソフト委員会

1. 著作権等管理事業法の制定に伴い発生した問題点等を解決すべく関係団体と協力し文化庁に対する活動を引き続き活発に行う。又、様々な状況変化の中で発生する新しい問題に対して精度疲弊を起こしていると考えられる部分については、関係省庁、管理事業者等に積極的に発信していく。
2. 定例会を通じ各部会の取り組み課題、協議状況をタイムリーに情報提供、会員の意見を吸収、各部会活動に反映させることにより活発な活動にする。

●カラオケ部会

1. JASRACとの「業務用通信カラオケ」使用料規程に関して継続協議。
2. イーライセンスと「業務用通信カラオケ規程」について継続協議。
3. 「カラオケに係わる音楽著作権管理に関する情報交換会」への積極的な参加
4. 民生用カラオケWGにてカラオケ使用の情報交換及び勉強会開催

●音楽配信部会

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を定例会の場にて実施すると共にNMRCを通じて管理事業者との協議、関連団体との意見交換に反映させる。
2. 実務上の問題点の解決に向け、NMRC実務WG及びNMRC拡大実務WGを通じて管理事業者、関連団体との協議、意見交換を行う。
3. 一般社団法人 著作権情報集中処理機構（CDC）の設立とデータベース構築に協力し会員企業の実績報告実務作業の軽減化と権利侵害リスクの回避を推進する。

●ソフト規格部会

1. MIDI及び音楽ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施。インターネットを始とした新しいメディアに於ける音楽電子事業の研究。
2. WGによる諸問題の討議、検討、規格化と実践。

6 透かし推進プロジェクト

AMEIが提供する「標準MIDI電子透かし」(第1層)埋め込みツールであるMIDIsignを用いていて会員企業がISMC規格を利用するよう促進し、MIDIデータ作成販売におけるDRM（電子的権利保護）の仕組みを構築する。共通透かしの利用によりデータの違法複製抑止、並びに権利者からの円滑な許諾を獲得して業界の発展に寄与する。
プロジェクトは「技術WG」「運用WG」「普及展開WG」の3つのWGによって構成される。

7 メディアコンテンツ委員会

セミナーを含む啓蒙活動を行うと共に他の委員会との合同セミナーなどを企画展開していく。
今年度は映像制御に関するセミナー及び小型レコーダに関する企画を検討、実施する。

8 MIDI検定委員会

委員会は4月、6月、9月、11月に開催予定。

<活動方針>

MIDI検定1級を制定、実施しMIDI学習目標を定める。
4級テキスト「ミュージックメディア入門」を広く一般に普及し底辺の拡大を図る。
コンピュータを音楽に活用する普及講座、受験講座、セミナーを行う。
講師認定講座を継続して行い、人材育成に努める。
合理的なMIDI検定実施方法を検討し越すと減を図る。

<事業計画>

1. 検定試験

第12回MIDI検定試験3級、第11回2級筆記試験 平成21年12月6日（日）

第11回2級実技試験 平成22年2月 東京、東京Mac、大阪会場

4級認定講座：随時

MIDI検定1級の実施：秋の実施をめざし、検討を重ねる。

中国に於けるMIDI検定試験の継続

2. 指導者認定講座

4級指導者：5月、3級指導者：6月、

2級指導者：7月 各東京、大阪

9 事業委員会

委員会及び拡大委員会を随時開催予定
楽器フェア関連出展可能性検討～運営業務の実施
MIDI関連セミナーの検討

10 広報委員会

<活動方針>

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会のアピールを強化すると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、公益団体としてのAMEIの積極的な活動を側面からサポートする。

<事業計画>

1. 会報「AMEI News」の発行

定期会報：年3回発行予定（4月、7月、11月）

2. ホームページの充実

AMEIホームページのメンテナンスと追加

MIDI検定公式ホームページのメンテナンスと追加

「はじめての音楽著作権実務」セミナー

ソフト規格部会長 原 正樹

ソフト規格部会では、音楽著作権や音楽ソフトビジネスに関する諸問題について、主にWG活動を主体とした研究及び検討を実施していますが、メンバーの拡充及び会員相互のより深いコミュニケーションを目指した新たな活動として、著作権に関する初心者向けの「はじめての音楽著作権実務」セミナーを企画しました。

対象は新入社員、若手社員及び新たに著作権実務を担当される方で、3回（6/18(木)、8/20(木)、10/15(木)）のシリーズ研修とし、講師は株式会社エクシングライツ管理グループプライツ戦略・チーフディレクターの堀江康之さんが担当します。

当初、参加人数は20名程度を想定していたのですが、5月21日（木）の著作権・ソフト委員会で案内をしたところ、想定のを超える43名の申し込みがあり、急遽セミナー会場をAMEI会議室から岩波セミナールーム

へ変更し、第1回のセミナーを無事終了しました。参加者は満席の会場の中、講師の話に聞き入ったりメモを取ったりと、大変熱心に受講されていました。また、セミナー後の名刺交換会でも積極的にコミュニケーションを図られていました。

第1回は「著作権概論」でしたので少々硬いセミナーとなりましたが、第二回は「インタラクティブ・通信カラオケ」と参加者にとって直接関連のある内容としていますので参加者にとって有意義なものになると思います。また、第二回以降は参加者間のより深いコミュニケーションを図る工夫もしていくつもりでいます。



講義をする堀江さん



セミナーの様子

CDC新事務所オープン

一般社団法人 著作権情報集中処理機構の新事務所が6月29日に開設されました。

住所等は以下の通りとなります。

東京都千代田区神田神保町2-2-31 第三末ビル4階
電話. 03-3262-2601 FAX. 03-3262-2602

公益法人制度改革対応について

昨年の12月1日付けで、公益法人制度改革に伴う「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴う関係法律（平成18年法律50号）（以下「整備法」という）が施行されました。これにより、現行の公益法人は12月からは「特例民法法人」となり、5年以内（平成25年11月30日までに）に内閣府の「認可」を受け新制度での法人に移行が必要となりました。

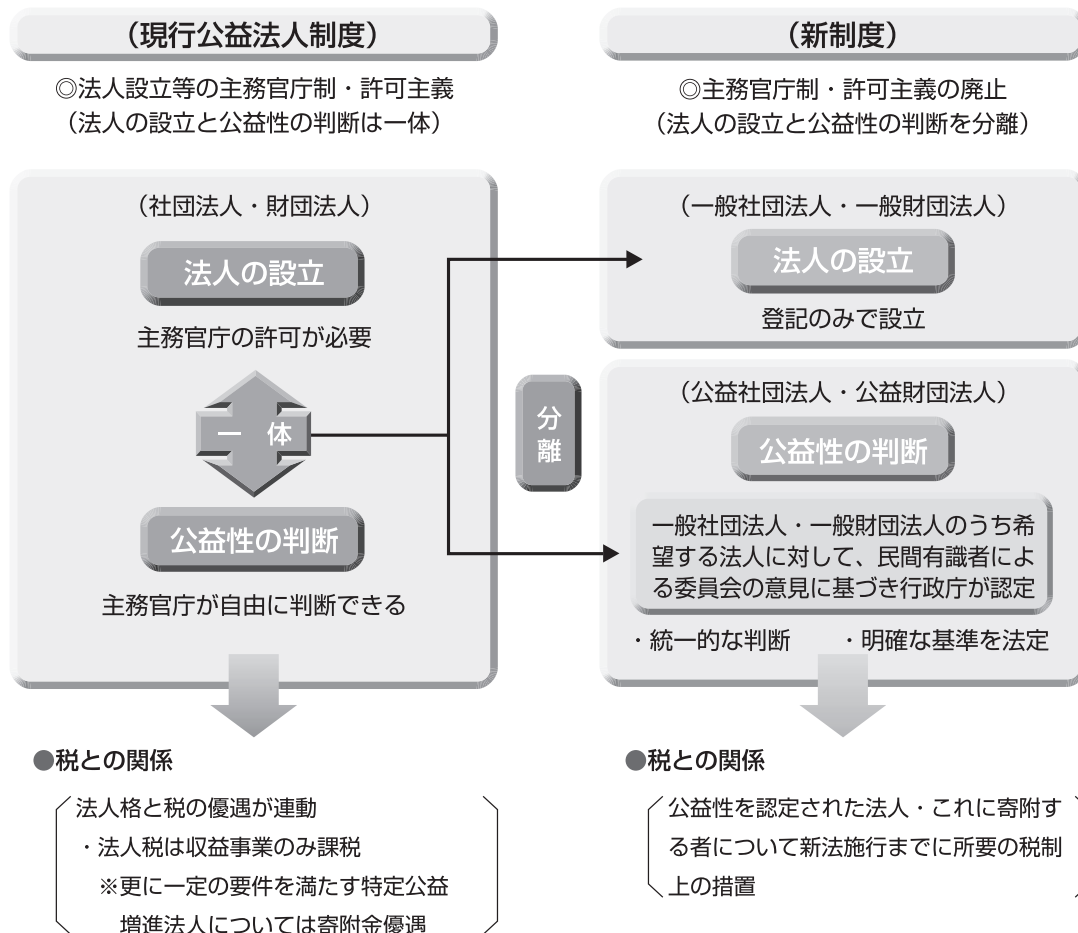
公益法人制度改革への対応をどうするかはAMEIにとり非常に重要な検討課題となりますので、以下公益法人制度改革の概要についてご説明させていただきます。

■公益法人制度改革とは？

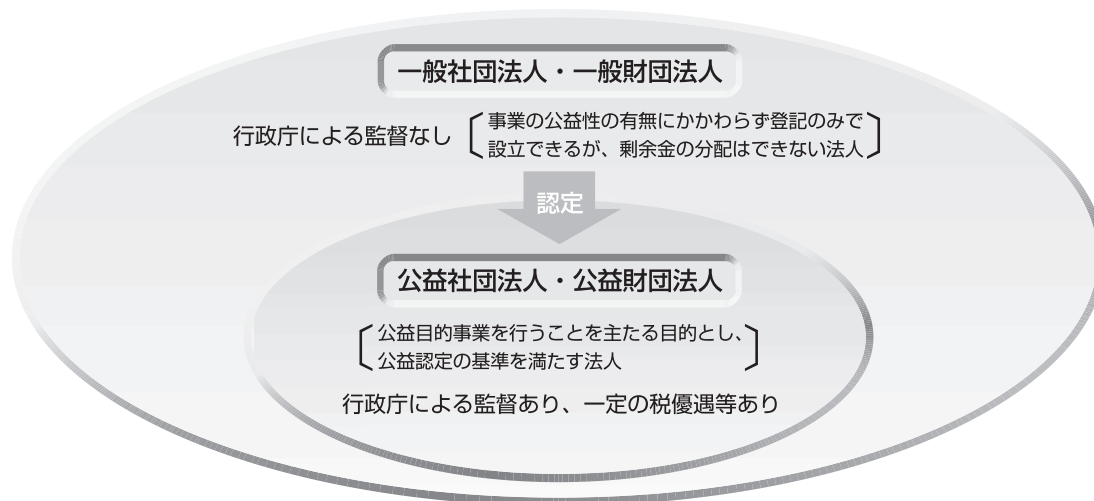
民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し、現行の公益法人制度に見られる様々な問題に対応するため、従来の主務官庁による公益法人の設立許可制度を改め、登記のみで法人が設立できる制度を創設するとともに、そのうちの公益目的事業を行うことを主たる目的とする法人については、民間有識者による委員会の意見に基づき公益法人に認定する制度を創設しました。

（行政改革推進本部事務局パンフレットより）

■公益法人制度改革の概要



新制度における一般社団法人・一般財団法人と公益社団法人・公益財団法人の関係は？



■当協会の移行について

当協会の移行対応につきましては、現在は白紙の状態ですが、今年度より運営委員会に制度対応について研究するWGを発足し、研究していく事となります。

また、以下のアドレスにて「公益法人制度改革の概要」が公開されていますので是非ご一読いただきたくお願い申し上げます。

<http://www.gyokaku.go.jp/siryou/koueki/pamphlet.html>

会員名簿

50音順 2009年7月10日現在

あ	す	ひ
・アイデックス音楽総研株式会社	・株式会社ズーム	・株式会社BMB
・アップルジャパン株式会社	・株式会社鈴木楽器製作所	・ビーブラッツ株式会社
い	・株式会社スリック	ふ
・株式会社インターネット	せ	・株式会社フェイス
・インフォコム株式会社	・セイコーインスツル株式会社	・株式会社フェイス・ワンダワークス
え	・株式会社セガ	・株式会社フォーサイド・ドット・コム
・株式会社エクシング	そ	・フォスター電機株式会社 フォステクスカンパニー
・株式会社エムティーアイ	・ソフトバンクモバイル株式会社	・株式会社フットレック
・株式会社エンターブレイン	た	へ
お	・株式会社第一興商	・ベスタクス株式会社
・株式会社音響総合研究所	・株式会社ダイマジック	み
か	・株式会社タムラ製作所	・ミュージックノート株式会社
・カシオ計算機株式会社	て	や
・株式会社河合楽器製作所	・ティアック株式会社	・ヤマハ株式会社
き	・株式会社ディーアンドエムホールディングス	・財団法人ヤマハ音楽振興会
・株式会社キューブ	・プロフェッショナル・ビジネス・カンパニー	・ヤマハミュージックトレーディング株式会社
く	と	・株式会社ヤマハミュージックメディア
・株式会社グリオ	・東映ビデオ株式会社	ら
・クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	・有限会社トゥロッシュ	・株式会社ラグナヒルズ
・クリムゾンテクノロジー株式会社	・株式会社ドワンゴ	り
こ	に	・株式会社リットーミュージック
・株式会社コルグ	・ニフティ株式会社	・株式会社リムショット
さ	・学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・	ろ
・株式会社サイバード	日本工学院八王子専門学校	・ローランド株式会社
・株式会社サミーネットワークス	・日本シンセサイザープログラマー協会	〈正会員会社60社〉
し	・学校法人電子学園日本電子専門学校	*賛助会員
・株式会社シーミュージック	は	・中音公司（中華人民共和国）
・JVCネットワークス株式会社	・パイオニア株式会社	・株式会社博秀工芸
・島村楽器株式会社	・株式会社ハドソン	・株式会社ミュージックトレード社
・学校法人尚美学園	・パナソニック モバイル コミュニケーションズ	〈賛助会員会社3社〉
・株式会社シンクパワー	株式会社	



新入会員のお知らせ 6月22日 株式会社シンクパワーの入会が承認されました。

シンクパワーはインターネット、モバイルでの歌詞サービスを中心に、関連アプリやツールの開発を行っております。音楽と共にいつでも歌詞の楽しめる世界を実現すべく、日々業務に取り組んでおります。

第13回通常総会議事録の開示について

下記のAMEIホームページでご覧いただけます。

AMEIホームページ <http://www.amei.or.jp/> の会員専用ページ

会員専用ページへのアクセスはID及びパスワードの入力が必要です。

お忘れの方はE-mailにてお申込みください。

●送付先：webmaster@amei.or.jp

●メールのSubjectにAMEI member HP registration（半角文字に限る）

●本文にお名前、E-mailアドレス、会社名、所属、TEL、FAXを記入のうえお申込下さい。

「国と特に密接な関係がある」

特例民法法人への該当性について(ホームページでの公表)

国家公務員法が改正され、国家公務員の適正な再就職及び特例民法法人の適正な事業の観点から、特例民法法人に関し、関係府省により申合せがなされました。今後、毎事業年度の終了後、更新してまいります。

AMEI NEWS Vol.39 / 2009.7.10

社団法人音楽電子事業協会 機関誌

発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F

TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549

発行人：岩崎修三

編集人：高橋直樹（広報委員会）

編集協力：株式会社 博秀工芸

ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>